

2020年3月18日

日本イーライリリー株式会社

〒651-0086
神戸市中央区磯上通 5-1-28
www.lilly.co.jp

EL20-15

本資料は、米国イーライリリー・アンド・カンパニーが2020年3月12日(米国現地時間)に発表したニュースリリースを日本語に翻訳したもので、内容および解釈についてはオリジナルが優先されます。<https://www.lilly.com>をご参照ください。なお、日本の法規制などの観点から一部、削除、改変または追記している部分があります。

AbCellera Biologics Incと米国イーライリリー・アンド・カンパニー COVID-19(新型コロナウイルス感染症)の抗体治療薬を共同開発

AbCellera Biologics Incとイーライリリー・アンド・カンパニーは、COVID-19の治療および予防の抗体治療薬を開発するために、米国でCOVID-19から快復した最初の患者から同定された500以上の抗体を探索します。

AbCellera Biologics Inc.(本社:カナダのブリティッシュコロンビア州バンクーバー、以下「AbCellera 社」とイーライリリー・アンド・カンパニー (NYSE:LLY、本社:米インディアナ州インディアナポリス、以下、「イーライリリー」)は、2020年3月12日、SARS-CoV-2 コロナウイルスに起因するCOVID-19(新型コロナウイルス感染症)の治療と予防のために抗体の共同開発に合意したことを発表しました。この共同開発では、アメリカ国防高等研究計画局(DARPA)のパンデミック予防プラットフォーム(P3)プログラムのもとに開発されたAbCellera社の迅速パンデミック応答プラットフォームと、イーライリリーの迅速な治療用抗体の開発、製造および提供能力を活用します。

AbCellera社は、米国でCOVID-19から最初に快復したアメリカ人患者の1人から血液サンプルを受け取り、1週間以内に患者がウイルスを中和して快復するのに役立った機能性抗体を探索するために500万を超える免疫細胞をスクリーニングしました。結果、AbCellera社は、抗SARS-CoV-2抗体の最大級のパネルとなる500を超える独自の完全ヒト抗体配列を確認しました。次の段階としては、これらの抗体をスクリーニングし、SARS-CoV-2に最も効果がある抗体を見つけることとなります。米国国立衛生研究所に所属している国立アレルギー研究所(NIAID)のワクチン開発センター(VRC)と共同して(なおNIAIDとの契約は交渉中)、これらの抗体の多くを発現させてウイルスを中和する能力について検討する予定です。

AbCellera社のCEOであるカール・ハンセン博士は次のように述べています。「世界最大の抗SARS-CoV-2抗体パネルを用いて、かつてないほど短期間で私たちのプラットフォームを提供いたします。私たちは11日間で現在の大流行の原因であるSARS-CoV-2ウイルスに対する抗体を数百個発見し、ウイルス学の世界的エキスパートと共に機能検査を実施し、世界有数のバイオ医薬品企業の1社であるイーライリリーと共同開発契約を締結しました。私たちは、この世界的な危機に対してイーライリリーの判断のスピードと機敏性に深く感銘を受けています。そして、イーライリリーと共に、この感染拡大を終息させるための対策を提供することに全力を尽くして参ります。」

イーライリリーの最高科学責任者で、リリー・リサーチ・ラボラトリーズのプレジデントである Daniel Skovronsky は次のように述べています。「世界中で急増している患者さんのために、医師と患者さんは早期に快復もしくは予防できる治療法を求めています。この世界的な危機の中で患者さんに革新的な医薬品を届けるために、私たちの役割を果たすことに全力を尽くしています。私たちは、AbCellera 社の取組みのスピードと質に感銘し、AbCellera 社と協力することにいたしました。私たちは、最速で患者さんを助けるための治療法を開発いたします。通常、新規の治療用抗体開発プログラムは、病院に製品をお届けするまでに数年を要しますが、AbCellera 社と協働して可能性のある新たな治療法について、今後 4 ヶ月以内に臨床試験に進むことを私たちの目標としています。」

本契約の条件の下、AbCellera 社 とイーライリリーは、製品に対する初期開発費用を両社で折半し、その後、更なる開発、製造および販売についてはイーライリリーが全責任を負うものとしました。本共同開発に成功した場合、イーライリリーは、治療方法を患者さんに届けるため世界の規制当局と協業する準備があります。

AbCellera Biologics Inc. について

AbCellera is a privately held company that engages in partnerships to discover and develop next-generation therapeutic antibodies. AbCellera's single-cell platform integrates end-to-end capabilities for therapeutic antibody discovery through a unique combination of technologies including proprietary immunizations, microfluidics, high-throughput imaging, genomics, deep computation, artificial intelligence, and laboratory automation. Ultra-deep screening of single B cells allows unprecedented access to natural immune responses, enabling rapid isolation of large and diverse panels of high-quality lead antibodies from any species, including humans. AbCellera was founded in 2012, and completed a Series A financing round in 2018, which was led by DCVC Bio. For more information, visit www.abcellera.com.

イーライリリー・アンド・カンパニーについて

イーライリリー社は、世界中の人々の生活をより良いものにするためにケアと創薬を結び付けるヘルスケアにおける世界的なリーダーです。イーライリリー社は、1 世紀以上に、真のニーズを満たす高品質の医薬品を創造することに全力を尽くした 1 人の男性によって設立され、今日でもすべての業務においてその使命に忠実であり続けています。世界中で、イーライリリー社の従業員は、それを必要とする人々の人生を変えるような医薬品を開発し届けるため、病気についての理解と管理を向上させるため、そして慈善活動とボランティア活動を通じて地域社会に利益を還元するために働いています。

日本イーライリリーについて

日本イーライリリー株式会社は、米国イーライリリー・アンド・カンパニーの日本法人です。人々がより長く、より健康で、充実した生活を実現できるよう、革新的な医薬品の開発・製造・輸入・販売を通じ、がん、糖尿病、筋骨格系疾患、中枢神経系疾患、自己免疫疾患、成長障害、疼痛、などの領域で日本の医療に貢献しています。詳細はウェブサイトをご覧ください。 <https://www.lilly.co.jp>

本件に関するお問い合わせ先

日本イーライリリー株式会社

コーポレート・アフェアーズ本部 小宮山 みづき

Tel. 03-5574-9221 Email: komiyama_mizuki@lilly.com

〈本プレスリリースは、重工業研究会、本町記者会、厚生労働記者会、厚生日比谷クラブ、道修町薬業記者クラブに配付しております〉

Lilly Cautionary Statement Regarding Forward-Looking Statements

This press release contains forward-looking statements (as that term is defined in the Private Securities Litigation Reform Act of 1995) about the benefits of a collaboration between Lilly and AbCellera, and reflects Lilly's current beliefs. However, as with any such undertaking, there are substantial risks and uncertainties in the process of drug development and commercialization. Among other things, there can be no guarantee that Lilly will realize the expected benefits of the collaboration, or that the collaboration will yield commercially successful products. For a further discussion of these and other risks and uncertainties that could cause actual results to differ from Lilly's expectations, please see Lilly's most recent Forms 10-K and 10-Q filed with the U.S. Securities and Exchange Commission. Lilly undertakes no duty to update forward-looking statements. Approved for Public Release, Distribution Unlimited.

#